

以下の通り訂正がございます。お詫びして訂正申し上げます。

《第3版の訂正》

第3版発行：2023/*/**

今のところありません。

《再版の訂正》 (以下の訂正は、第3版以降では修正済み)

再版発行：2023/7/10

ページ	行目	誤	正	備考
90	19	不変な直線や平面は表現 B の	不変な直線や平面の中で、原点を通るものを表現 B の	詳細は下のメモ (1) 参照.

《初版の訂正》 (以下の訂正は、再版以降では修正済み)

初版発行：2023/6/16

ページ	行目	誤	正	備考
16	2	線型代数	線形代数	本書ではこのように統一.
108	10	となる V が存在して、 V の任意の点 q	となる近傍 V が存在して、 V の任意の点 q	

《MEMO》

- (1) 「不変部分空間」という名前の通り、不変部分空間はベクトル空間です。したがって、原点を含む直線や平面のみを不変部分空間として考えます (定義が誤っておりました)。そうでないと、平面 $x + y + z = 1$ など当てはまってしまいます。